

平成29年度
戸田市まち・ひと・しごと創生
総合戦略効果検証会議

提 言 書

戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議

平成29年12月

目次

1	提言に当たって	1
2	各事業に対する意見	1
	（1）住宅政策事業	1
	（2）保育実施事業	2
	（3）働きやすい環境づくり事業	3
	（4）健康教育事業	4
3	まとめ～指標に対する事業の有効性～	6
	<参考資料>	7
	1 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議要綱	7
	2 平成29年度戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議委員名簿...	8
	3 会議開催日	8

1 提言に当たって

私たちは、戸田市が進めている「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」について、市長からの依頼を受け、平成28年度に実施した事業の効果等について意見交換を行いました。

本会議は、市民、産業関係者、学識経験者、金融関係者により構成され、それぞれの立場から多様な意見が出されました。

本会議では、平成28年度に実施した事業のうち、国からの交付金¹を受けた事業等について、検証を行いました。概ね、各事業が順調に進められているものと考えますが、今後、より効果的な事業となるよう、さらに取組を発展させていくことが期待されます。

2 各事業に対する意見

本会議で検証した4事業について、会議における発言に基づき意見を整理しました。既に十分取り組まれている内容もあると思われませんが、改めて重要性等を認識いただくとともに、今後の事業の改善ポイントとして活用してください。

(1) 住宅政策事業

①事業に対する評価、今後の事業展開に向けた意見等

- ・現在進めている住まいに関する施策の動きや、今後のサービスなど、先々の支援内容が分かると、転出せずに留まろうと考える人もいると思います。
- ・子育て世帯が住み替えたいエリアと、空家があるエリアが合っていないと、この施策を進めても住み替えが進まない結果になりかねません。
- ・現時点で空家になっているということは、その物件に何か住みにくい理由があるはずで、その原因の調査と、具体的な対策を打つ必要があります。
- ・現在住んでいない空家を所有している方にとっては、管理や仲介、リフォーム、解体など、専門家に気軽に相談できる場があると良いです。安心して相談できる場という点では、行政が介入することで一定の信頼を得られる部分もあると考えます。
- ・空家を使えば、他の自治体で新築物件を買うよりも「安く」住めるのか、調査する必要があります。
- ・解体費用のローンなど、銀行にも利用できるサービスがあるため、活用してほしいです。
- ・ハード整備は時間がかかるため、ソフト面の充実も求められます。例えば、学区の魅力を向上させたり、その魅力を空家バンクでPRしたりすることで、空家が持つ子育て世帯にとっての魅力が増え、マッチングにもつながると考えます。
- ・所有者の状況（相続や遠方居住等）によっては、売買や賃貸に関する契約手続き等のハードルが高いことも空家にはありがちです。行政だけでなく、協力関係にある民間事業者とも連携し、そうした手続き面のサポートなども、空家バンクの機能として備えられると良いです。

②まとめ

- ・空家と子育て世帯のマッチングが肝要であり、空家バンクを作っただけでは効果は限定的

¹ 地方創生加速化交付金

であると考えられます。ここまでの事業構築は適切になされていると考えますが、今後、空家バンクを構築した先にこれくらいの効果が生まれる、というのが見えるとさらに素晴らしい事業になります。

- ・空家バンクの運用開始が目標となっていますが、空家バンク設置後の最終的な効果を明確にすることや、ソフト面も充実した空家バンクを設計・運用するのであれば、意味ある事業ではないかと考えます。本年度から進めている協議会等においても、本会議からの意見も参考にいただきながら、きめ細かな情報が提供される空家バンクとなるよう、協議してください。

(2) 保育実施事業

①事業に対する評価、今後の事業展開に向けた意見等

- ・他自治体では、ハード整備よりも人材育成等の保育の質の確保という点にウエイトを置いた施策に移行しているところもあります。戸田市においても、ハード整備については、今後、シフトチェンジのタイミングを考えなければなりません。そのためにも、量的充足の効果について、今のうちに検証しておく方が良いと考えます。
- ・保育人材がいなことは、深刻で重要な問題です。園内での人間関係を理由に、入ったばかりの保育士さんがやめてしまうという話を良く聞きます。民間の保育園に、市が介入することは、難しい面もあると思いますが、市としても、保育士を育てるという視点が重要であり、それが、保育の質の向上や、保育士の確保にもつながると思います。
- ・新宿アルタビジョンでのプロモーションや、保育士確保のための給付金等について、今後の実績や効果は検証する必要があります。
- ・もっと男性保育士が増える仕組みになると良いと考えます。
- ・大学の就職フェアに参加する取組はとても良いと思います。もっといろいろな大学や専門学校に出向いたり、実習を受け入れるなど、パイプ作りを進めると良いと思います。
- ・インターンシップ制は良いと思います。学校側は、保育現場の状況も知っているため、依頼したくても遠慮する面があると思いますが、市が仲介することで、インターンシップで学生が現場を体験し、就職後も離職せず、長く続くことにつながります。
- ・市内にいる潜在保育士の掘り起こしも重要です。短時間でも働けるような仕組みができると、少しでも保育人材が増えるのではないのでしょうか。例えば、官民間問わず、保育士リストを作って運用するなど、いろいろな方法が考えられます。
- ・潜在保育士は、知り合いにも何人かいます。短時間でも働けるなら、保育の現場で働くことを希望する方は市内にいらっしゃると思います。また、出産を理由に離職した保育士の方が、出産後すぐにでも復帰できるように、優先的に子どもを保育園に預けられる仕組みがあると、市内の潜在保育士の掘り起こしにつながるのではないのでしょうか。
- ・保育士を確保するだけでなく、研修等によるスキルアップ等も含め、市内に定着してもらえる工夫が必要ではないのでしょうか。
- ・保育士のフリー登録制度があると良いのではないのでしょうか。研修の際など、一時的に人員が不足するところに、必要に応じて、登録保育士を派遣できます。場合によっては、保育士の有給休暇などの確保にもつながります。

- ・保育士の再任用の窓口が市役所にあると良いのではないのでしょうか。登録だけでもできますし、短時間でも働きたい方の受け皿となることが出来ます。退職した保育士が復帰すれば、現場でのスキル継承にもつながります。短時間であれば、責任は少ないが、子どもたちとは触れ合えるメリットもあり、希望する方も出てくるのではないのでしょうか。

②まとめ

- ・量的充足という点では、目標に向けて予定どおり進んでいることもあり、指標に対して有効であったと考えますが、量的充足だけではなく、ソフト面の充実が重要であるとの意見が多く出ました。
- ・保育士確保については、有効な取組が行われていると考えますが、数値目標をどこまで達成できるのか、今後経過を見る必要があると考えます。また、量的充足と同様に、保育士確保だけではなく、総合的なソフト面での内容充実が求められるとの意見が出ました。

(3) 働きやすい環境づくり事業

①事業に対する評価、今後の事業展開に向けた意見等

- ・今後の運営に生かすため、ママスクエア北戸田店で働く方たちから、感想を聞く機会が必要です。
- ・株式会社ママスクエア側が求める人材と、実際に応募してきた方がマッチしているかという確認が必要です。何らかの理由で、株式会社ママスクエアでは働きづらいと感じる方が一定数いるのであれば、2箇所目の事業所は、そうした方の受け皿にすることが出来ます。株式会社ママスクエアは、1箇所目の事業所なので、今後、継続的に状況を見ながら進めていくことが、次の事業展開につながります。
- ・今回の調査では、製造業で人材不足を感じているとの結果が出ていました。製造業の職場でも女性が働きやすい環境を作ることも、対策として必要ではないのでしょうか。
- ・市内にある倉庫では、小学生のママたちが、空いている時間で働いています。倉庫の中に託児所があれば、保育園入園を待っているママたちも働けます。企業のニーズとのミスマッチも解消できるため、株式会社ママスクエアとは別な形で、短時間でも働ける環境が広がります。
- ・約4,000万円かけて20人の募集では、費用対効果としては小さいのでは、と感じてしまいます。4,000万円は国からの交付金で全額充当されたとのことですが、平成29年度に予算計上されている、新たに開設する事業所への補助金は、市が負担することになるため、これを踏まえて今後の費用対効果を考える必要があると考えます。
- ・随時、関係企業と連携を取り、情報交換や状況確認をしながら、戸田市に一番合った事業を展開してほしいです。
- ・ママスクエア北戸田店は、アドバラン的な位置付けですが、素晴らしい内容です。
- ・就職支援セミナーについて、目標値を上回り、素晴らしい成果を挙げています。内容としては、パソコンスキルに関する内容に需要があるようですが、セミナーの効果や成果を確認するために、参加者の感想を聞けると良いのではないのでしょうか。就職ができたかどうかは聞きにくい部分だと思いますが、少なくとも、セミナーを受けてどうだったかということが聞けると良いと思います。また、セミナーの受講者だけでなく、ママスクエア北戸

田店で働く方へのアンケートにも活用できるようなフォーマットを作れると良いと思います。

- ・建築業界では、以前は手書きで設計していましたが、現在では、CAD を使って、素人でも簡単に設計ができる環境になっています。教える方がいれば、スキルとして身に付けられると思います。建物の設計やデザインなどは女性が好む分野でもあり、スキルアップのためのセミナーに、このようなメニューが増えていくと女性が働く分野が広がります。
- ・この分野に限らず、県と市の補助メニューがミスマッチになっていると感じることがあります。女性活躍の分野では、県にはウーマノミクス課があり、力を入れて進めています。事業の全てで県と考えが一致することはないかもしれませんが、補助メニューを考える際に、市独自の色を出してだけでなく、県のメニューを踏まえながら、設計できると良いと考えます。

②まとめ

- ・指標については、ほとんどが目標を達成している状況ですが、ハローワークでの就労女性数は目標を下回っています。しかし、各種就労支援に係るスキルアップ事業等については実績があり、今後の就職につながることを期待できます。また、企業誘致による女性雇用数は、昨年度中は 0 人となっていますが、本年度に入ってママスクエア北戸田店がオープンし、募集も行われています。取組については、立ち上がったばかりなので様子見は必要ですが、1 箇所目の事業所を誘致できた点で評価できます。

(4) 健康教育事業

①事業に対する評価、今後の事業展開に向けた意見等

- ・特定保健指導を受けると、対象者の分析や計画づくりに加え、しつこいくらい連絡をくれて厳しく管理してくれることで、目標を達成できます。こうした素晴らしい取組が広がると良いです。
- ・特定保健指導について、市としては国民健康保険の加入者を対象にしていますが、国民健康保険加入者の中には、低所得の方もいるため、例えば野菜を食べるように指導しても、高く買えない等、なかなか計画どおりに進まないことが多く、6 か月間投資しても、全く痩せないこともあります。その点、企業で働いている方は、会社からの指導もあれば本気で取り組むことが多いです。
- ・特定保健指導を受ける方は、最初の電話では、怒られると勘違いしています。実際にやってみると、体重が減って喜ぶ方は多く、民間のスポーツジム等と違い、特別な費用がかからないことなどメリットも多いです。事業の周知やアピールをもっと効果的に行うことで参加率が向上するため、そこに投資すると良いと考えます。
- ・働いている方をターゲットにするのであれば、普段のお仕事や通勤で歩いていることが運動であると気付いてもらえるよう、リストバンド型の計器を活用するなど、日常的に取り組みやすいやり方だと、数値が伸びていることが目に見えるため、取組が盛り上がると思います。
- ・横浜市では、歩数計を配布し、市内の店舗等にあるリーダーでデータを読みこむと、ポイントが貯まるだけでなく、歩いた量が分かるという事業を実施しています。参加者が、デ

ータを取りに来た時に、「数値が伸びてる」と日常的に実感することで継続につながり、その際にカウンセリングもできるメリットがあると話を聞いたことがあり、戸田市でも取り入れていくと良いのではないのでしょうか。

- ・男性の場合、誰かお友達と運動に行くという意識が低く、運動の機会づくりが難しいです。「運動をしに行く」となるとハードルが高いと思いますが、例えば、囲碁などの集まりで福祉センターに行った際に、ちょっと運動できる時間を設けるなど、目的があって行った先で、その場の仲間で運動する機会があると参加しやすいと思います。運動を目的とした場に呼ぶよりは、男性が集まっている場所に向いて、運動する機会を提供する方が効果的だと思います。
- ・カラオケ大会など、市内で健康に関する大会が増えると良いと思います。女性については、リズム体操が定着し、講師もいて、発表会も行っています。リズム体操でなくても良いので、男性が参加して楽しいと思える場があると良いと思います。
- ・働いている方は、休日または退職後、外出する機会が少なくなります。健康という側面だけでなく、コミュニティへの参加や地域に知り合いを増やす機会づくりにより、趣味やこれまでの仕事を活かした活動に結び付けることで、外に出やすくなり、健康にもつながっていくのではないのでしょうか。
- ・出前講座の実績が多く、素晴らしいと思います。基本的には希望があった場合に開催するとのことですが、企業で働く方が参加しやすい時間や曜日に開催し、募集すると良いのではないのでしょうか。そこから、健康ポイント事業につなげることもできると思います。
- ・健康ポイント事業の景品については、もっと企業の協力があれば、景品を目的に頑張ってみようと思う人が増えると思います。
- ・健康ポイント事業のターゲットについて、市の独自性を考えると、もっと若い人をターゲットにしたアプローチをしても良いのではないのでしょうか。例えば、「糖尿病を予防しよう」では集まらなくても、ボディビルダーの写真を付けて、「こんな筋肉を作ろう」と謳ったポスターであれば、やってみようと思う方も出てくると思います。気軽に取り組むきっかけになるようなPRやキャッチコピーにした方が良いでしょう。平均年齢が若い市なのに、他の自治体とあまり変わらない内容だと感じます。広報PRにもっと力を入れた方が、参加者が増えると思います。
- ・わくわくするような目標を与えてあげることが大事です。参加している人が楽しんでやっていると人は集まってくるし、コミュニティにもつながります。町会を巻き込みながらできると活動が広がるのではないのでしょうか。特に若い世代が参加できる環境づくりが大事だと思います。
- ・組織の上層部が健康に対する意識を持たないと、組織の中には浸透していきません。上層部への健康づくりへの意識付けが重要です。また、当然ながら、本人が健康であることも重要です。市が模範となって取り組むことも大事ではないのでしょうか。
- ・誰かと一緒に健康づくりに取り組める仕掛けもあると継続的な活動につながりやすいです。例えば、マンションのコミュニティで集まりがあるので、そこで何か実施できると良いです。市からアプローチがあると参加者も増えると思います。

・多世代で参加できる場づくりができると思います。

②まとめ

・指標については、その達成率で見ると、健康づくりポイント事業の継続率は大きく上回っており、今後も大事にしながら持続していくことが大切です。出前講座の受講者数は若干目標を下回っているものの、ほぼ達成したとも言えます。本会議からの様々な意見が、より良い事業につながることに期待します。

3 まとめ～指標に対する事業の有効性～

各事業には、達成すべき目標となる指標及び目標値が設定されています。本会議では、目標値に対する実績値を踏まえ、各事業が目標達成に有効であったかどうか評価しました（指標に対する事業の評価）。評価に当たっては、本会議において、各事業における意見交換の内容を総合的に勘案し、判断しました。

各事業の評価は下表のとおりです。

表1 事業別「指標に対する事業の評価」

No	事業名	指標に対する取組の有効性 ¹
1	住宅政策事業	1
2	保育実施事業	1
3	働きやすい環境づくり事業	1
4	健康教育事業	1

全ての事業について、指標達成に対して有効な取組だったと評価しました。

一方で、各事業の検証の結果、今後の事業展開に対する様々な意見が出されました。指標に対する取組の有効性の判断には、これらの意見が、各事業において十分検討され、より大きな成果につながることへの期待が込められています。

この提言書が、今後の総合戦略の推進及び見直しを図る際に最大限尊重され、戸田市の地方創生の実現に向けて、より良い事業展開に生かされるよう望みます。

¹ 各事業において設定された指標の達成に対し、取組内容が有効であったか評価。

【選択肢】 1：指標達成に対して有効であった。 2：指標達成に対して有効とは言えない。

＜参 考 資 料＞

1 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議要綱

戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議要綱

平成28年10月17日市長決裁

(設置)

第1条 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）に係る施策や事業等の効果を検証し、総合戦略の推進及び見直しを行うため、戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議（以下「検証会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 検証会議は、次に掲げる事項について意見交換を行い、市長に結果を報告する。

- (1) 総合戦略に係る施策や事業等の効果検証に関すること
- (2) 総合戦略の推進及び見直しに関すること
- (3) その他総合戦略の効果検証及び推進に関し必要な事項

(組織)

第3条 検証会議は、委員8名以内で組織し、次に掲げる者のうちから市長が依頼する。

- (1) 市民
- (2) まちづくりに係る団体等の関係者
- (3) 産業関係者
- (4) 学識経験者
- (5) 金融関係者
- (6) その他市長が必要と認めた者

(任期)

第4条 委員の任期は、依頼の日から当該年度の末日までとし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 検証会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は委員の互選によるものとし、副会長は会長が指名するものとする。
- 3 会長は、会務を総理し、検証会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検証会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。ただし、会長が選任されるまでの間は、市長が招集し、総務部経営企画課が進行するものとする。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 市長又は会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し会議への出席を求め、

意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 検証会議の庶務は、総務部経営企画課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年10月17日から施行する。

2 平成29年度戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議委員名簿

(敬称略)

No	区分	所属団体等	氏名
1	市民委員	市民（管理栄養士）	石田 美枝
2	市民委員	市民（一級建築士、マンション管理士）	大久保 浩子
3	市民委員	市民（健康体操、親子体操等の教室主宰）	野田 明美
4	産業関係者	第4期戸田市中小企業振興会議委員 中小企業診断士	坂上 成人
5	学識経験者	明治大学経営学部 教授	藤江 昌嗣（会長）
6	金融関係者	埼玉りそな銀行戸田支店 支店長	新谷 志郎（副会長）

3 会議開催日

第1回会議 平成29年10月4日（水）

第2回会議 平成29年10月11日（水）